

何のために働くのか、何のために学ぶのか  
- 東京都墨田区立吾嬬第二中学校で考える -

開倫塾  
塾長 林 明夫

## 1. はじめに

おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。

6月11日(金)に東京都墨田区立吾嬬第2中学校にお招きいただき、出張授業をさせていただきました。

中学2年生の進路学習の一環として企業の方から学ぶという出張授業があり、私は所属している東京経済同友会でその講師登録をしており、今回の講師としての要請がありました。

今回の出張授業には、全部で12名の企業経営者の方が参加しました。代表者は、経済同友会で学校と企業経営者の連携を促進する会の委員長であります、DIC(旧・大日本インキ化学工業)株式会社の杉江和男社長さんです。私はその会の促進委員の一人として参加しました。とても勉強になりましたので、今日はそのお話をさせていただきます。

## 2. 何のために働くのか、何のために学ぶのか

(1)何のために学校で企業の方から学ぶ出張授業をするかということ、企業の経営的な立場にある人からお話を聞いて、今の社会の流れや今の社会で必要とされる人材について知るためです。また、それにより、中学生のうちに将来仕事に就く心構えや働くことの意義を考える機会とするためです。

(2)授業の内容については、事前に次のような依頼がありました。それは、仕事の内容、仕事を選んだ理由、仕事をして嬉しかったこと、中学校時代の夢、中学校時代に身に付けておくことよいこと、そして最後に、今どのような人材が必要とされるかについて話してほしいということでした。

(3)生徒さんたちはグループに分かれ、私のところには10名ぐらいの生徒さんが来ました。そして、講師による講演と生徒とのディスカッション、意見交換がありました。

(4)私は簡単なメモを作り、そのコピーを生徒さんたちに渡してお話しました。

まず、仕事は学習塾を運営していること、そして、弁護士になりたかったがなかなか試験に受からなかったのがこの仕事を選んだこととお話しました。それは、塾で勉強を教えることは子供

たちのためになると考えたからです。仕事をして嬉しかったことは、勉強があまり得意でなかったお子さんが得意な科目を作り、自分の希望する学校に合格することができたことです。また、中学校時代は、弁護士や外交官、新聞記者になりたいと思っていたこともお話しました。

(5) 中学校時代に身に付けておくといことは、本を読む習慣をつけて思慮深さを身に付けておくことや、勉強の仕方を身に付けておくことです。できれば、早寝・早起き・朝ご飯の習慣をつけておくと、仕事に就いた場合もよい仕事をする事ができることもお話しました。

(6) 今どのような人材が必要とされているかについては、これからは国際化の時代ですので、英語を話せる方、他の国々の方と自由にお付き合いができる方、人の話をきちんと聞くことができる方、自分の意見をしっかりと述べることでできる方、このような人材が必要とされているというお話をさせていただきました。

(7) この放送をお聴きの皆様の中には中学生や高校生もいらっしゃると思いますが、多くの方々は仕事をされていると思います。ですから、自分のお子さんや身近な子供たちにぜひこのようなお話をしあげてください。

(8) 子供たちの中には、何のために働くのかや何のために学ぶのかを知りたがっている方もいらっしゃいます。このことについて真剣に話して下さる方と接した子供たちは、誰からも話をしてもらわない方と比べて、勉強する意味や仕事に就くときの心構えがわかり、非常に将来のためになると思います。

(9) また、何のために働くのか・何のために学ぶのかということをいつもいつも考えている方と、ただ漫然と生活しているだけの方とを比べると、生きる意味や今勉強する意味がずいぶん違ってきます。ですから、そのことについてもお伝えいただきたいと思います。

### 3. おわりに

サッカーのワールドカップで日本チームがカメルーンに勝ちました。選手たちは非常に頑張って活躍しています。その出場している日本人選手に負けないくらい、何のために生きるのか、何のために働くのか、何のために学ぶのかということを、子供たちにぜひ教えていただければ有難いと思います。

- 2011年3月24日林明夫記 -